



# ひがし野

教育目標  
 真理(まこと)を求める生徒  
 情操(こころ)を深める生徒  
 身体(からだ)を鍛える生徒

令和3年  
 7月  
 July

高め合い 磨き合い 感動し合い  
 「愛」いっぱいの真岡東中

## 立派に成長した一学期 ～4か月の生徒たちの頑張り～

本日で、令和3年度の第1学期が終了となります。たったの4か月足らずでしたが、全ての生徒が自分なりの目標に向かって、精一杯努力し、立派に成長してくれました。その成長は、日々の学校生活の様子から、確実に感じ取ることができています。

朝の登校立哨をしていると、日に日に挨拶の声が大きくなるとともに、笑顔をお返しすることができています。横断歩道を渡り終えると、停車してくれた車に振り返って深々と礼をする姿も多々見られます。時には、「いつもありがとうございます。」という言葉をかけてくれる生徒もおります。朝の立哨を通して、日々成長する生徒と笑顔で挨拶ができる喜びをかみしめています。

授業では、「しっかりと聞く」「積極的に意見交換をする」「一心不乱に書く」などメリハリのある生徒の様子が見られます。特に、本校生徒の「メリハリ」はとても素晴らしいと感じています。また、「共に学び合う」ことを意識し、親身になって教え合う様子も多々見られ、級友との深い絆を感じる事ができております。

そして、部活動。3年生にとっては最後の大会となる総体が進行形で実施されております。すでに、芳賀地区大会で終了した部もあれば、県大会や関東大会等の上位大会を控えている部もあります。結果はいずれにせよ、必死に取り組み、うれし涙・悔し涙を流す生徒を見て、目頭が熱くなりました。

7/20の終業式に生徒たちは「通知表」を持ち帰ります。通知表でお伝えできるものには限りがあります。上記のような生徒たちの頑張りに対して、どうぞご家庭でも称賛の言葉をかけてあげてください。



【選手激励会における吹奏楽部の演奏】

## 支えられて・・・【修学旅行、マイ・チャレンジが無事終了】

6月19日～21日に修学旅行を実施することができました。京都・奈良方面から、福島・那須方面へと行き先を変更しての実施でしたが、生徒たちはまさに「満喫」してくれたものと確信します。6月22日は、2年生がマイ・チャレンジ（職場体験）を実施しました。不特定多数の人との接触を避けるために、行政機関、農業、工業に限定しての学習でした。それ故、2年生の生徒たちは、本当の意味での働くことの厳しさを学んでくれたようです。

このような学校行事が実施できるのは、保護者の方々、地域の方々に「支えられている」からだ改めて再認識しなければならぬと考えます。修学旅行の行き先変更を含めた実施に際して、生徒たちは、不平一つ言わずに受け入れてくれました。保護者の方々も、感染への不安を抱えておられながらも、学校の感染対策を信じて賛同して下さいました。マイ・チャレンジでは、地域の方々に温かく支えていただきました。特に、受け入れにご協力頂いた事業所等の方々には、懇切丁寧に生徒にご指導下さり、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。生徒たちはたくさんの「自信」をお土産に持ち帰ったことと思います。

コロナ禍にありながら、生徒たちには二度とない貴重な学校行事が行えていることは、たくさんの方々に「支えられている」からに他なりません。心から感謝申し上げます。



【マイ・チャレンジの様子】

## 等身大の学校

この1学期も、多くのボランティアの方々へ支えていただきました。放課後は毎日、消毒ボランティアの方々にご来校いただき、校内の消毒をしていただきました。お仕事を終えてお疲れの中での消毒に感謝しても感謝しきれない思いです。感染拡大のため、読み聞かせボランティアの方々にはおいでいただくことができませんでしたが、本校での読み聞かせを楽しみにして下さっていることと思います。「東中パパさん学校応援隊」の活動では、現在使用しているプールの環境整備をしていただきました。整然と取り付けられた防風ネット、ニス塗られた下駄箱、雑草が取り除かれた周囲を見るたびに、感謝の気持ちを抱いております。

本校が目指す「地域とともにある学校づくり」は、【等身大の学校】を観ていただき、学校にできないことは助けていただく。そうすることで、大切な生徒たちにより良い環境で教育を施すことができるものなのです。

2学期以降も様々な場面で、お力添えをお願いすることとなりますが、「全ては生徒のために」をご理解いただき、引き続きご協力いただくと幸甚です。

